

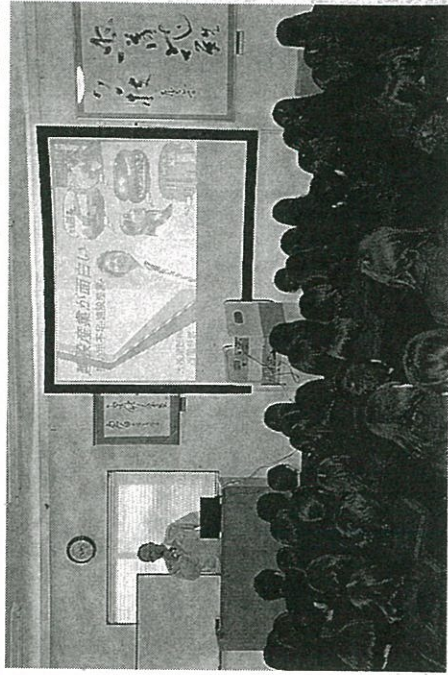
この出前講座は建設業の魅力を高校生に発信し、若年者の雇用促進・人材育成の拡大に結びつけるのが目的。県内の工業高校以外の高校に出かけ、建設業界へのイメージアップを図っている。

同校は女子生徒が多いこともあり業界とは真一体となって女性が活躍できる場を整備する取り組みなどを紹介した。西尾氏が実際に現場で働く女性の映像を流して、作業について説明すると、生徒たちは興味深そうにこなす

た。今回の出前講座では西尾毅彦大松建設専務が講演。建設業をPRするビデオやイラスト、現場写真などを使い、土木・建築業の仕事内容の説明や災害時や災害防除での建設業の果たしている役割などについて生徒にわかりやすく話した。

米子南高で出前講座 県建設業協会 県土木技士会

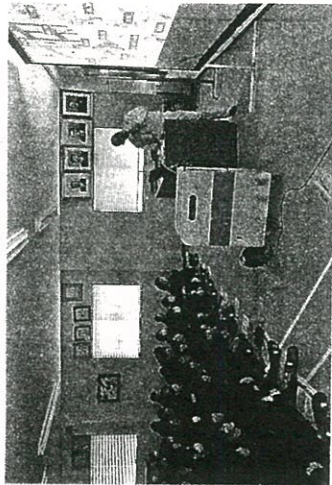
(無料メールで10日配信済み記事) 県建設業協会(藤原正会長・藤原組社長)と県土木施工管理技師会(下本八一郎会長・シモモト社長)は若年者入職・人材育成事業として実施している高校生への出前講座を9日、米子市長砂町の米子南高等学校で開き、1年生153人に建設業の魅力や特徴、仕事内容を説明した。



出前講座のようす(=9日、米子南高等学校)

建設業の魅力発信

米子南高で出前講座



生徒を前に建設業について説明する西尾専務

「高校生への出前講座(県建設業協会、県土木施工管理技師会主催)」が9日、米子市の米子南高校で開かれた。地元の建設業者が多様な業務内容や女性の活躍などを解説し、1年生153人が建設業への理解を深めた。出前講座は若者に建設業の魅力を発信する

ために鳥取、倉吉の高校で実施され、同校で3カ所目。この日は大松建設(同市彦名町)の西尾毅彦専務(53)が講師を務めた。建設業について、道路などインフラ整備を行つ「土木」と住宅など建物を建てる「建築」に分かれることを説明。災害復旧に大きな役割を果たすことも紹介した。

また、女性が重機オペレーターや検査技師などの分野で活躍していることから「現場へ

の女性用トイレの設置や育児に配慮した勤務体系の導入など、女性が働きやすい環境整備を進めていると説明。「建設したものが形になって残るのが最大の魅力」と建設業をアピールした。内藤桃子さん(16)は「建設業の知らなかった一面を見られた」と話していた。

この日は3年生を対象に、中国税理士会米子支部による租税教室もあった。(渡部ちぐみ)